

# 行歯会だより 第 129 号



( 行歯会 = 全国行政歯科技術職連絡会 ) 平成 30 年 2 月号

## 1 「熊本市いきいき健康大使」が誕生！

～健康づくりの大切さを呼びかけます～

熊本市健康福祉局保健衛生部健康づくり推進課 伊形治美

## 2 若手奮闘記 No.19

秋田市保健所保健予防課 福司郁子

## 3 都道府県世話役のつぶやき ～石川県・岩手県～

石川県健康福祉部健康推進課 平田佳永

岩手県花巻保健福祉環境センター（岩手県中部保健所）栃内圭子

## 4 平成 29 年度第 3 回理事懇談会報告

神奈川県小田原保健福祉事務所 加藤千鶴子

## 1 「熊本市いきいき健康大使」が誕生！

～健康づくりの大切さを呼びかけます～

熊本市健康福祉局保健衛生部健康づくり推進課

伊形治美



行歯会の皆様には、いつも貴重な情報をいただき、深く感謝申し上げます。

昨年 10 月に熊本で開催された「第 39 回むし歯予防全国大会」で、「熊本市いきいき健康大使」の活動をご覧になられた「行歯会だより」の編集担当の方より執筆依頼がありましたので、ご紹介させていただきます。

熊本市においては、市民へ「健康づくりの推進」を呼びかけるメッセンジャーとして、3 団体に市長が委嘱状を交付し、昨年 9 月 15 日に、初代の熊本市いきいき健康大使が誕生しました。任期は 3 年間です。

「熊本市いきいき健康大使」には、市内のイベントやコンサートなどで歯科健診やがん検診の受診勧奨、健康に役立つ情報を提供し、健康市民を増やす取り組みに協力をしていただいています。



【委嘱状交付式の写真】

2017.9.19 熊本日日新聞と 2017 市政だより 11 月号（32 万世帯配布）に掲載

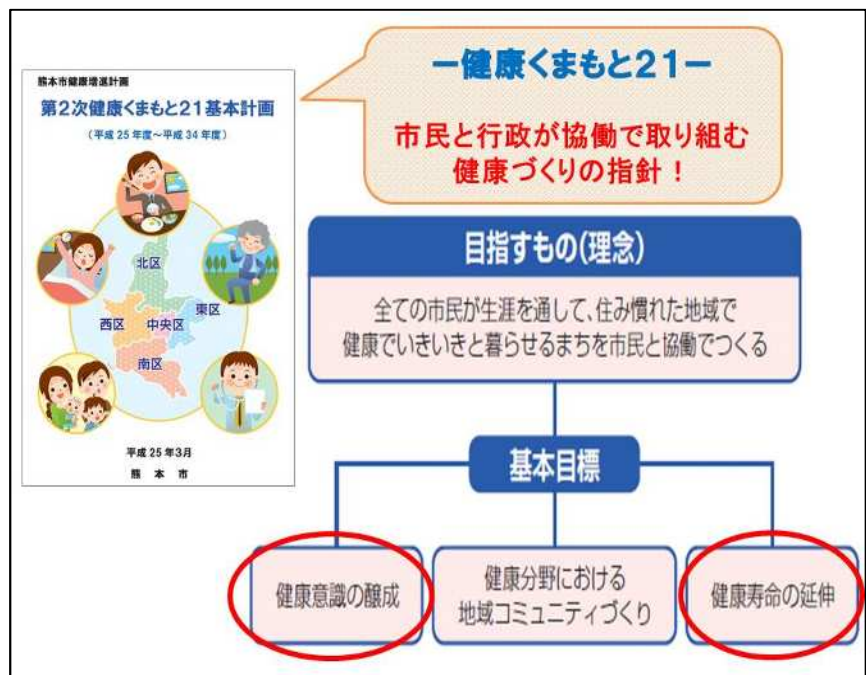
### 「熊本市いきいき健康大使」が誕生した経緯

平成 26 年度に、西区役所から健康づくり推進課へ異動し、3 年間歯科保健業務を担当しておりましたが、平成 29 年度からは、担当業務に「健康くまもと 21」事業が加わり、健康づくり全般を考え推進していく任務を与えられました。

熊本市では、「全ての市民が生涯を通して住みなれた地域で健康でいきいきと暮らせるまちを市民と協働でつくる」ことを目指していますが、そのためには、若いうちから健康意識を高め、健康寿命を延ばす取り組みが必要です。

しかし、実際には、若い方々になかなか「健康」に興味をもってもらえない現状がありました

ので、若い方々が健康に関心をもってもらえるように、若い方々への発信力のある 3 団体の方々に、「いきいき健康大使」となっていただくことにしました。



## 熊本市いきいき健康大使3団体の選定理由や活動など

### 1. ミス・ユニバース・ジャパン熊本ファイナリスト

**選定理由：健康意識が高く、若い世代への「健康美」に関する発信力が大きい！**

約1年前、各大学の学園祭実行委員が集まる自動車学校主催イベントで、「健康情報コーナー」を出展した際に、ミス・ユニバース・ジャパン熊本の実行委員長へ、歯の大切さをPRしたことがきっかけで、ミス・ユニバース・ジャパン熊本ファイナリストの存在と活動内容を知りました。ミス・ユニバース・ジャパン熊本の実行委員長は、健康意識が高く、「美の源は健康」、「特に歯は大切」との認識をお持ちで、熊本ファイナリストの選出基準には、「健康」と「笑顔」も追加しているとのことでした。私たち行政職員が実施している市民の健康意識を高める啓発活動に賛同していただき、「私たちができる事があれば協力しますよ」と嬉しいお言葉をいただき、早速、自動車学校主催イベント会場でもミス・ユニバース・ジャパン熊本ファイナリストの美女が、「8020運動」の旗などを持って「健康美」を発信し、若者への啓発に協力してくださいました。その出会いが「熊本市いきいき健康大使」の誕生に繋がりました。ファイナリストの方々は、医学生や体育教師、ヨガ講師、英会話講師、看護師など、知性と健康的な知識も兼ね備えた方が多いことに加えて、自分の夢や理想に向かって努力をしている姿を通して、私たちに頑張る意欲を与えてくれています。

今までむし歯に1本もなったことがない「白い歯」が私の武器です！



2017 むし歯予防全国大会では「受付&誘導」と「ステージ上でリエスフリー体験談」を担当

美女にはマスコミ取材もやってくる

若者 300 人の前で健康のために実践している事をPR！  
表彰式のアテンドにも協力！



花火大会ではテレビ生放送の出演依頼があり、健康の大切さを5分間放映

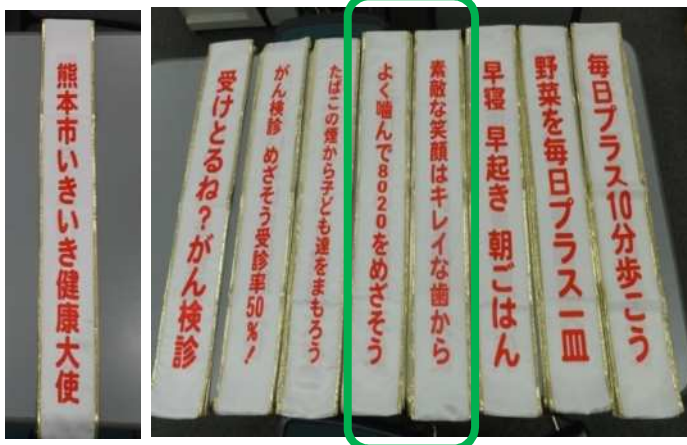
毎日1時間以上歩いたり、運動をしています

私は毎日国が勧める野菜の摂取量よりも沢山野菜を食べています！



【健康メッセージ入りのたすき】

表 裏



後姿からも健康づくりの啓発をしてくれます

いきいき健康大使の方々には、イベントの趣旨に合った内容の健康メッセージを記載した、たすきをかけて活動していただきます。現在は、8種類の健康メッセージを準備しており、「歯と口の健康づくり」啓発メッセージは2種類、「素敵な笑顔はキレイな歯から」と「よく噛んで8020をめざそう」です。

最近では、市学校保健会と市教育委員会が主催するイベントの中で、「健康トークショー&ウォーキングレッスン」の講師や、市政策局主催の「熊本城市民シンポジウム」に、市長と一緒に登壇するシンポジストへのオファーがありました。今後も、行政内部における健康部門以外の他の部局との連携強化を図りながら、健康市民を増やす取り組みを進めていきたいと思っています。

## 2. S.K.K. (子宮頸がん検診普及ポータルユニット)

選定理由：熊本大学病院の専門医師や医学部・薬学部などの教員と学生、メディア、市や県の行政職員などの連携団体から生まれた「子宮がん検診受診率の向上」を目指して結成されたユニット

成人式会場や街中イベント等において、クイズなどを通してがん検診受診啓発を実施しています。

現役の大学生や20代メンバーからの発信により、若い世代への啓発効果が期待できます。

イベント会場では、がん検診の啓発だけでなく、歯科啓発リーフレットなども一緒に配布してくださっています。



[子宮頸がん検診] 略して”S,K,K.”

20歳から子宮頸がん検診を受けることができます。  
検診を受けて、自分の健康を守る大人になりましょう！



## 3. Book Bear ブックベア (女子小学生くまもと応援バンド)

選定理由：市内の女子小学生で結成された熊本シティエフエムがプロデュースするロックバンド。

健康づくりの歌( )をとおしてステージイベントやラジオで健康づくりの大切さを伝えている。小学生からの発信により小中学生をはじめ保護者世代へ啓発効果を期待  
市歯科医師会や社会福祉協議会、病院、



市内中心商店街、銀行、まちづくり組織など、多岐にわたる団体からの出演依頼がありました。委嘱状交付式から3か月の間に17か所の会場で、8020ソングや朝ごはんを食べよう等、健康づくりに関する歌を通して、歯科保健の推進に貢献してくれています。

昨年の11月は、「いい歯の日」の意識づけも含めて、ブックベアが歌う8020ソングを広報課の協力により、市役所全館放送で約1か月間、毎日流れました。職員からの問合せやラジオ局へのリクエスト曲に選定されたりしています。

【健康づくりの歌】

**歯の大切さを伝える「未来へGO!GO!わくわく8020ソング」**

行政が育成・支援している「熊本市8020健康づくりの会」(歯科保健推進ボランティア団体)が歌詞を作成し、市教育委員会、市歯科医師会などの協力で制作  
 ↓  
 食の大切さを伝える「朝ごはんを食べよう」の曲  
 健康づくり啓発ソングを現在作成中！平成30年4月頃完成予定(シティエフエム作成)



**未来へGO!GO!**  
 ~わくわく8020ソング~

作詞：熊本市8020健康づくりの会 作・編曲：原田靖士  
 総合プロデュース：熊本シティエフエム

演奏：Book Bear

1. 食べたらみがこう めざそう8020 80歳まで20本  
 フッ素とハブラシ タッグを組んでむし歯予防の最強コンビ  
 ※Let's enjoy brushing and flossing  
 Let's enjoy brushing and flossing 口も心もキラキラかがやく 8020
2. なんでも食べよう よくかむ 噛ミン30 ひとくちかむこと30回  
 噛めば噛むほど 頭はスッキリ 体もだんだん強くなる  
 ※Let's enjoy brushing and flossing  
 Let's enjoy brushing and flossing 口も心もキラキラかがやく 噛ミン30
3. 白い歯かがやく 素敵な笑顔 私たちの願い  
 みんなでピカピカ ハッピースマイル  
 夢と希望をふくらませ わくわくライフ始まるよ  
 ※Let's enjoy brushing and flossing  
 Let's enjoy brushing and flossing  
 口も心もキラキラかがやいて 未来へGO!GO!GO!

お口の健康づくりのために  
 ＊フッ化物配合歯磨剤を使いましょう  
 ＊デンタルフロスや歯間ブラシ等を使いましょう

熊本市8020健康づくりの会の許諾なく販売・賃貸業に使用すること、無断複製することは著作権法上、禁じられています。

**振り返りと今後に向けて**

熊本市いきいき健康大使の誕生から4か月が経ち、いま感じていることは、健康福祉部局以外の課からの出演依頼が増え、他課との連携が深まるとともに他課からの協力も得やすくなりました。また、いきいき健康大使3団体のメンバー各自のブログや団体のHPに、健康づくりの啓発活動写真やコメントをアップしてくれるので、啓発効果も期待でき、民間企業からの関心も高まりました。今後も、他部局のイベント等に「健康」の視点が加わり、民間企業の協力も得ながら、健康づくりの輪が広がる取り組みにしていきたいと思っています。

最後になりますが、「熊本市いきいき健康大使の誕生」には、職場の上司のよき理解と職場の仲間の協力、熊本市いきいき健康大使となっただけだ3団体の方々の協力があつたからだと感謝しています。また今回、「行歯会だより」にて、このような機会を与えてくださった、長会長、高澤副会長、田村先生に深くお礼を申し上げます。

## 2 若手奮闘記 NO.19

秋田市保健所保健予防課 福司 郁子



### 【はじめに】

行歯会の皆さま、いつも大変お世話になっております。

秋田市保健所保健予防課の福司郁子と申します。平成28年度に歯科衛生士として入所し、今年で2年目になります。この度は、このような機会をいただきましたので私が日々取り組んでいる事業等について、ご紹介したいと思います。

### 【自己紹介】

出身は秋田市です。県内の専門学校を卒業後、総合病院の歯科、行政の非常勤、療養病床や緩和ケア病棟がある病院での勤務の後、ご縁があって、現在に至ります。

行政での仕事は、平成17年から2年間の任期で、秋田県健康福祉部健康推進課でお世話になり、フッ素洗口事業を中心に歯科保健に携わりました。当時一緒に歯科保健に熱意を持っていた臼井歯科医師との出会いもあり、医療の現場とは全く違う環境での歯科衛生士の仕事にやりがいを感じ、歯科保健指導が出来る行政で仕事がしたいという気持ちが強くなりました。しかし、任期終了後は、歯科保健指導を主にした仕事の機会には恵まれず、医療現場で勤務しておりました。

あれから約10年、秋田市で歯科衛生士の採用があると知った時は、正直驚きましたが、迷う事はなく、受験申込みをしました。少し遠回りではあったと思いますが、秋田市で2人目の歯科衛生士として、自分を磨きながら経験を活かして邁進中です。

### 【秋田市について】

秋田市は秋田県のほぼ中央に位置し、東には霊峰太平山、西には日本海が広がるみどり豊かな公園都市です。人口約31万人の中核市で、夏は東北3大まつりの1つ、秋田竿燈まつりが行われます。重さ50キログラム、高さ12mの竹竿に46個の稲穂に見立てた提灯が、手のひら、ひたい、肩、腰へと載せていくスリリングな妙技は圧巻です。毎年8月3日から6日のまつり期間中は、連日約260本の竿燈が夜の通りを埋めつくします。一度是非いらしてください。

### 【業務（事業）について】

秋田市には、現在2名の歯科衛生士がおり、子ども健康課と、保健予防課に各1名ずつの配属となっております。少ない専門職の体制ですので、他職種の方々の協力と理解を得ながら、事業を行っています。

現在、私が所属している保健予防課では、歯科健康相談をはじめ、歯科医師にお話しただく講話会や、口腔機能の維持・向上を目的としたお口の機能向上学級の開催、健診業務などを実施しています。

特に、力を入れている事業は、お口の機能向上学級です。この事業は、65歳以上の高齢者を対象に月1回全8回コースで開催しており、各回テーマを決め、講話やお口の体操などを通じてお口の健康を学ぶ機会となっております。初回にお口の健康度測定として、いくつかのチェック項目を設け、教室の後半に同様の測定を行い変化をみます。この間、自宅で継続してもらうお口の体操をお伝えし、配布したカレンダーに実施状況を記入してもらっています。今年度は、秋田市で作成したオリジナルの「いいあんべえ体操」（ストレッチ、筋トレ）も取り入れて、全身と口の関わりを理解してもらいながら、機能の向上を目指しています。参加者の方々の「口の大切さがわかった」「お口の体操をするようになって薬を飲む時楽になった」「むせなくなった」という変化や「効果はまだ感じられないが、毎月の教室が楽しみだ」という感想も教室を作っていく力になっています。

その他に今年度は「後期高齢者歯科健診」という新規事業の立ち上げに携わるという貴重な経験もしました。

何とかな事業を行っていた一年目と違い、今年度は自分なりの理解と考えを入れて事業に取り組めたと思います。上手くいったこと、いかなかったこと、まだまだ方法があったのではないかと反省することもあります。広い視野で物事を見る目を失わないよう、他職種と協力して、3年目の来年度も歯と口の健康づくりに取り組んでいきたいと思っています。

#### 【最後に】

専門学校を卒業した当初は、恥ずかしながら、歯科衛生士としての理想という志高いものは正直なく、「歯科衛生士としての活躍」を考えたこともなかったです。当時の自分が今の私を見たらびっくりしていることと思います。医療の進歩や、社会の情勢の中「歯科保健」の大切さが言われはじめ、歯科衛生士の活躍の場が増え、その流れの中で、私自身も良き先輩や先生など、たくさんの方々との出会いをとおして、刺激を受け、いつの間にか「歯科衛生士としてこうありたい」という姿を追いかけて、今に至ります。

歯科の専門職として力を発揮出来るよう、行政の歯科衛生士の若手！？としてチャレンジしていきたいと思っています。





### 3 都道府県世話役のつぶやき ~ 石川県・岩手県 ~

#### 石川県のつぶやき

石川県健康福祉部健康推進課 平田 佳永

#### 最近のトピックス

行歯会のみなさま、いつも行歯会だよりやメール等を通じて、情報提供いただき、ありがとうございます。石川県健康福祉部健康推進課の平田と申します。

さて、本県では、現在「いしかわ歯と口腔の健康づくり推進計画」の改定作業を進めておりますが、さまざまな調査結果から、本県の歯科疾患の罹患状況は全国と比較すると総じて悪い状況にあることがわかっています。

その原因の一つかもしれませんが、つい数年前まで、本県は、県行政に歯科専門職が一人もいない(いたことのない)県でした。市町行政においても、同様の状況であり、県下 19 市町のうち、歯科専門職が在籍しているのは、現在、1 市に歯科衛生士 1 名のみとなっています。

このような背景や大学歯学部がないこと等、さまざまな要因が現状を招いているのではないかと推測しております。県行政初めての歯科専門職として、身に余る重責を感じておりますが、歯と口腔の健康を維持することの重要性について、県民の理解が深まるよう、関係者の方々と連携しながら、時間をかけて取り組んでいきたいと思っております。

#### 世話役のつぶやき

私は石川県の能登町という、能登半島の先端に近い場所で生まれ育ちました。厳しい自然環境の中で育ったせいか、温暖なところに進学したいと考え、大学は広島大学、卒後は大阪大学の矯正科に在籍しておりました。

矯正科在籍時には、非常に多くの症例を治療させていただき、寝る間を惜しんで臨床・研究等にまい進しておりましたが、認定医取得という一つの目標達成後、「石川県が歯科医師を探している」という話を耳にしました。

そのようなタイミングであったこともあり、新たな分野にチャレンジできるのならばやってみよう一念発起した私は、公衆衛生に関する知識が不足していることを自覚してはいたものの、県行政に飛び込むことにしたのでした。

入庁後、早 3 年が経過しようとしています。歯科保健以外の担当業務も多く、これまでに、たばこ対策、熱中症対策、ロコモティブシンドローム予防対策等に從事させていただき、現在は、がん登録、糖尿病対策、地域職域連携推進事業等を担当しています。新たな業務は苦勞も多いですが、周囲の方々に助けていただきながら、与えられた仕事を何とか全うしていきたいと思っております。最後に、これまで矯正治療のことばかり勉強してきた私は、県行政で唯一の歯科専門職であるにも関わらず、歯科保健の業務においてすらいろいろな知識が不足していると痛感しています。そのような中、行歯会を介していただく情報を参考にさせていただくことが多いのですが、数少ない歯科専門職がつながり、いち早く情報交換できるところが行歯会のすごいところだと思っております。会員の皆様方には、またいろいろとお尋ねすることがあるかもしれませんが、その際にはご指導いただきますと幸いです。今後とも行歯会が会員にとって身近な存在であることを願っています。



【県内企業への出前講座の様子】

## 岩手県のつばやき

県南広域振興局保健福祉環境部花巻保健福祉環境センター  
(岩手県中部保健所) 栃内 圭子



## 最近のトピックス

私は、平成 22 年 4 月に岩手県職員に採用され、間もなく 8 年になります。

最初の 3 年間は県庁で歯科保健を担当し、その後の 5 年間は県央（中核市である盛岡市を除く周辺 7 市町）、岩手中部（花巻市、遠野市など 4 市町）の保健所で、医療計画の圏域計画の推進や、地域包括ケアシステムの構築（医療と介護の連携支援）などを担当しています。

先輩方から「保健所に行くと、歯科のことはできなくなるよ」と言われていましたが、地域包括ケアシステムの構築を推進する中で、口腔ケアによる誤嚥性肺炎の予防、多職種で関わる食生活改善などへの関心が高くなっており、振興局の予算で在宅 NST の事業を実施する機会を得たり、市町村や介護事業者へ助言する機会も多く、想像していたよりは歯科保健医療に携わる機会が多いと感じています。

昨年 6 月には、管内の教育委員会から依頼を受け、歯科に関する高齢者向けの講演をする機会をいただきました。専門職向けの講演はこれまで経験しており、与えられた時間を飽きさせないように心がけていますが、「高齢者と言っても、有歯顎の人と無歯顎の人ではケアの仕方も違うし・・・」とこれまでとは違う、歯科に興味を持ってもらうような講演内容を考え、無事務めましたが、「伝える」ことの難しさを今まで以上に痛感させられました。

## 世話役のつばやき

現在の勤務地の花巻は、（野球好きな方はピンとくるかもしれませんが）今シーズン日本ハムからアナハイムエンゼルスに移籍した二刀流大谷翔平選手の母校花巻東高校があります。

職場から歩いて5分のところに、「マルカンデパート」のワンフロアに、昭和レトロ漂う大食堂がありました。しかしながら、建物の老朽化に伴いデパートは平成28年6月に閉店しました。閉店前から地元の高校生を中心に大食堂存続の署名活動により、平成29年2月に大食堂が復活しました。写真は、名物の10段（約25cm）ソフトクリーム（180円）です。花巻市民は箸を使って食べるのが特徴です。（久しぶりにいただきましたが、40代にこの量はキツイ……。ご安心ください、ハーフサイズもあります。）

最後に、世話役就任の意気込みですが、平成30年4月に歯科医師1名が採用される予定です。本稿が掲載される時には内定者が決まっていると思いますが、まずはその方を行歯会にお誘いし、入会していただくことが目標です。



## 4 平成29年度 第3回行歯会理事懇談会報告

神奈川県小田原保健福祉事務所 加藤千鶴子

日時：平成30年1月26日（金）19：00～21：00

場所：貸会議室八重洲倶楽部

出席者：長、山田、高澤、芦田、安藤、石川、岸井、  
白井、清田、田村、柳澤、中村、中山、渡辺、  
加藤

### 【報告事項】

#### 1 全国歯科保健大会 & 研修会

平成29年11月11日（土）富山県で開催。行歯会を紹介して発表した。

#### 2 歯科疾患実態調査対象地区アンケート調査

平成29年厚生労働科学研究・地域医療基盤開発推進研究事業において系統的レビューに基づく「歯科口腔保健の推進に関する基本的事項」に寄与する口腔機能評価法と歯科保健指導方の検証を実施。年末からスタートし、現在回収率56%。締切りは1月26日。結果は追って知らせる。

#### 3 災害歯科保健医療連絡協議会

長会長が協議会、柳澤先生がワーキングに出席し、今年度3年目となる。共通言語としての行動指針を作成した。



ワーキングの動きとしては、災害歯科コーディネーターの研修のあり方、JMATに匹敵する歯科チームについて、中久木先生を中心に検討を進めている。

#### 【協議事項】

#### 1 平成30年度会員名簿について

セカンドアドレス（個人アドレス）を会員名簿に掲載することについて協議。次年度の名簿更新時に本人の意思を確認し、了承得た人は記載する。

#### 2 行歯会だより年間計画

##### (1) 平成30年の新たな特集について検討した

- ・ 包括ケアシステムにおける歯科職の取組みについて
- ・ 賛助会員からの寄稿
- ・ 管理職に就いている会員から

##### (2) 行歯会だより掲載記事一覧について

掲載記事一覧を新年時に1年分を歯っとサイトに掲載する。

#### 3 第4期行歯会執行部としての運営計画

##### (1) 「地域保健・健康増進事業報告」による乳幼児歯科健診データについて

看過できないデータエラーが生じているため、修正作業を行歯会が担い「歯っとサイト」で修正結果を公表するという方向性が合意され、今後、具体案を検討していくこととなった。

##### (2) 歯科保健業務指針の改定について

協議を行ったが、厚労省が改定作業をする場合は、何らかの関わりを持つ必要があるので、しばらく状況を静観する必要があるという方向で落ち着いた。

##### (3) 歯科衛生士人材育成について

保健師や栄養士については国が人材育成マニュアルを作成している。歯科衛生士については今後継続して検討する。他自治体が参考に出来るように、神奈川県には作成したマニュアルをホームページにアップして欲しい。

##### (4) 世話役アンケートについて

各世話役の所属で今年度企画開催した研修について情報収集する。内容、講師、対象を報告してもらい一覧にしてML配信する。2月実施、年度内に集約する。公表は年度明けでもよい。担当：清田先生、渡辺先生

##### (5) 5歳児歯科健診結果について

実施のハードルが高いので将来に先送り。

#### 4 その他

##### (1) 厚生労働省委託事業：保健指導教材についてのアドバイス（みずほ情報総研株式会社）

現場は既に教材を持って使用しているので、そのことを報告しておく。

##### (2) メーリングリストの活用

過去のMLの閲覧が出来るようにgmailや掲示板の活用について協議。

googleログインアカウントなどを共通使用すると閲覧できる方法もあるが、アカウントを誰が管理するか等の課題もあるため、MLの活用はしない。

## 編集後記

行歯会立ち上げ当初から、運営事務面で長らく関わってまいりましたが、いよいよ満を持して今月号からサブの編集担当となりました。行歯会だよりは、行歯会創設期から、メーリングリストとともに、会員皆様に様々な情報を発信するツールのひとつであります。

2005年5月号から始まり、約13年間ほぼ毎月発行されており、これもひとえに編集担当の先輩方の汗水流した努力のたまものであると思います。既に128号を数えており、国立保健医療科学院の歯っとサイトの下記URLから、バックナンバーも読むことができます。

<https://www.niph.go.jp/soshiki/koku/oralhealth/gyoushidayori.html>

私も、先輩たちに負けないよう、会員皆さんの楽しめる充実した内容の行歯会だよりになるよう主担当のKさんとともに頑張っただけで、よろしくお願ひいたします。(Y)

今月号からメイン編集担当となりました。半年間よろしくお願ひいたします。

とつても意欲的に編集に取り組んでいらした前メイン編集担当のT先生の後ということで非常に緊張しておりますが、今号からサブ編集担当のY先生にサポートしてもらいながら頑張ります。

皆さんに原稿を寄せていただくことで成り立つ『行歯会だより』です。突然のお願ひが舞い込むこともあるかもしれませんが、御協力をお願ひいたします。(K)

## 「歯っとサイト」掲載コンテンツ募集！

「歯っとサイト（歯科口腔保健の情報提供サイト）」

<http://www.niph.go.jp/soshiki/koku/oralhealth/index.html> では、  
掲載コンテンツを募集しています。

・Web媒体（リンクをはる）場合は、下記URLへ

<http://www.niph.go.jp/soshiki/koku/oralhealth/youbou.html>

・PDF等のファイル媒体での提供も可能です。

希望される場合は、「行歯会だより」の配信メールに記載されている窓口宛にご連絡ください。